# ぬくもり情報局

森林セラピー通信

# 森のたより

## 冬のセラピー 白銀の森さんぽ

ふわふわの雪の上を歩きます

1月28日(日)に、「県民の森　白銀の森さんぽ」を開催し、松江や広島から8名の参加者が、飯南町ならではの雪の森を楽しみました。

冬の森の中には、開花を待つかわいらしいミツマタのつぼみやアオゲラのドラミングの音、タヌキやキツネの足跡がたくさんあり、しっかりとした生命の気配を感じることができました。

冬の森は空気も澄んでいて、深呼吸をすると清々しい空気が胸いっぱいに染みわたります。冬のセラピーを満喫できる一日でした。

## 森林セラピー博学講座

ヤノウエノアカゴケ

森の中には、地面付近にも小さな森があることをご存知ですか?それは、「苔」の世界です。

森の中には、実に多くの種類の苔が生えています。小さな世界なので、しゃがんでじっくり観察しないと、その違いに気づかないかもしれません。

春になると、地面にはりついた苔の中から、先に袋(蒴)をつけた細長い柄が伸び、目をひく苔もあります。(写真)

ちょっと立ち止まって、虫めがねでのぞいてみませんか?今まで見たことのない、「苔ワールド」を体験できますよ。

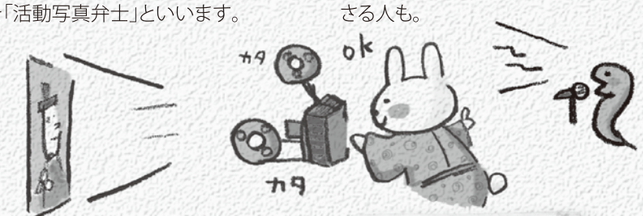
## ミニアック&おもしろ 飯南町 歴史ばなし

「吉岡長太郎フィルムコレクション」や「活弁」という言葉を聞いたことがありますか?

吉岡長太郎さんは、明治24年に飯南町真木に生まれました。妻のサダ子さんと一緒にリヤカーに映写機を積み、自前のフィルムを上映しました。当時は音声のない無声映画で、サダ子さんの機械操作に合わせて長太郎さんが語る上映スタイルです。この語り部のことを「活動写真弁士」といいます。

プロの弁士の指導のもと、町内に弁士を養成し「長太郎活動写真弁士保存会」が結成され、町内外で活弁を披露しています。

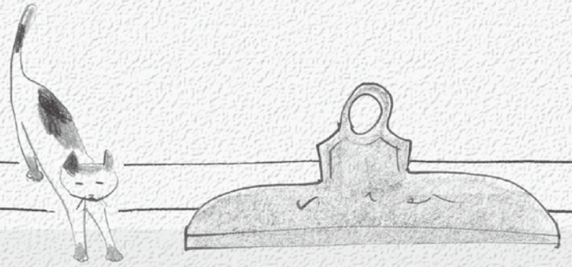
昭和10年ごろの映像が約150本ものフィルムに残っているのは全国でも珍しいことです。これをDVD化したのが「吉岡長太郎フィルムコレクション」。古い映像を見ると、懐かしむ思いから「コレはワシのじいさんだ」と説明してくださる人も。



活弁を見るなら、
長太郎活動写真弁士保存会へ!

■お問合せ・情報提供
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
電話76・2864





## 短歌

頓原公民館短歌教室　一月詠草

雨の夜は女人がすすり泣くと云う竜神橋の冬のミステリー　藤原　正

この里に活気たのむと新年の神話街道旅する人ら　岡田　繁富

古賀メロディ「誰か故郷を想わざる」懐かしく聞く亡兄の愛唱歌　片岡　千鳥

吹雪くなか森へと急ぐ親鳥か嘴に柿巧みに銜え　千葉トミヱ

お互いに薬の数をたしかめて二人で生きる八十の道　景山サチ子

迎春の夫婦の私案に笑い合う互いを励ます百六十三歳　三上　朋子

なつかしき故郷の歌集いただきぬ繰り返し読み潮の香伝う　熊谷　允子

畑隅で黄の寒菊の目立ちおりあたりの木々は冬ごもる中　景山　牧栄

二冊目の十年日記もあとわずか迷いつつ選ぶ五年の日記　本間　啓美

年の瀬にジングルベルの曲流れ仏教徒なれども心のはずむ　石川　隆

ガラス戸をゆらす吹雪の音聴けば豪雪の日々頭をよぎる　安部　徳則

年の瀬を迎えて想う我が暮らし来る歳月も元気で楽しく　山本　正敏

## すこやかに

1月届出分

| 新生児 | 届出人 | 地区 |
|---|---|---|
| 安田　怜央(れお)ちゃん | 健一 | (上来島) |
| 安田　磨央(まお)ちゃん | 健一 | (上来島) |
| 波多野　尊(たける)ちゃん | 悟 | (下赤名) |

## やすらかに

1月届出分

| お名前 | 親族 | 地区 |
|---|---|---|
| 南部　宣行様(73) | 隆文 | (赤名) |
| 雨川　キヨコ様(104) | 恭一 | (町区) |
| 高橋　完様(80) | 菊子 | (赤名) |
| 高橋　幸治様(62) | 浩美 | (野萱) |
| 讃岐　鉄朗様(64) | 達之 | (都加賀) |
| 奥田　章様(86) | 悟 | (赤名) |
| 森原　繁子様(102) | 絹枝 | (上区) |
| 高田　茂富様(81) | 直樹 | (長谷) |
| 加治　チヨコ様(93) | 正和 | (谷) |
| 政本　スミ様(78) | 節 | (上来島) |
| 森山　圭治様(87) | 隆道 | (上区) |

## 今月の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

むだじゃない
勇気を出した
その言葉

志々小3年　高岡(たかおか)　善秋(さとし)さん
志々小5年　高岡　咲季(さき)さん
家族名　高岡　善絵(よしえ)さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

## 今月の表紙

荒鹿坂は、飯南町と広島県庄原市高野町との境にある峠で、現在は草峠と呼ばれています。

風土記の時代には関所が置かれ、備後国と出雲国を行き来する人を検査していました。江戸時代には、交易の道として栄え、日本海の海産物(ワニなど)がこの道を通って高野へ運ばれました。

今は、1mをゆうに超える雪に閉ざされた草峠ですが、春夏秋冬四季折々の色がきれいな峠です。